

授業科目 生体機能代行装置学実習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	臨床
中村 藤夫、牧口 智夫、高橋 良光		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 生体機能代行装置のうち、呼吸、循環、代謝を代替する呼吸療法装置、体外循環装置、血液浄化療法装置の臨床的操作・運用方法と保守管理方法について実習する。正しい操作だけでなく過去の事故事例に基づいて正しい判断ができるように、事故事例を再現して安全管理の視点から事故防止に繋がる実習を行う。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. 血液浄化療法装置の操作・保守点検・事故事例について 2. 呼吸療法装置の操作・保守点検・事故事例について 3. 体外循環装置の操作・保守点検・事故事例について					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題備考・担当教員
1	オリエンテーション				
2	血液浄化療法装置の基礎			1	実習
3	血液浄化療法装置の基礎			1	実習
4	血液浄化療法装置の操作			1	実習
5	血液浄化療法装置の操作			1	実習
6	血液浄化療法装置の保守点検			1	実習
7	血液浄化療法装置の保守点検			1	実習
8	血液浄化療法装置の事故事例			1	実習
9	呼吸療法装置の基礎			2	実習
10	呼吸療法装置の基礎			2	実習
11	呼吸療法装置の操作			2	実習
12	呼吸療法装置の操作			2	実習
13	呼吸療法装置の保守点検			2	実習
14	呼吸療法装置の保守点検			2	実習
15	呼吸療法装置の事故事例			2	実習
16	呼吸療法装置の事故事例			2	実習
17	体外循環装置の基礎			3	実習
18	体外循環装置の基礎			3	実習
19	体外循環装置の操作			3	実習
20	体外循環装置の操作			3	実習
21	体外循環装置の保守点検			3	実習
22	体外循環装置の保守点検			3	実習
23	体外循環装置の事故事例			3	実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床工学講座 血液浄化療法装置	生体機能代行装置学 血液	竹澤真吾、出淵靖志	医歯薬出版株式会社	2011・4,000円＋税
	臨床工学講座 呼吸療法装置	生体機能代行装置学 呼吸	廣瀬稔、生駒俊和	医歯薬出版株式会社	2011・3,990円＋税
	臨床工学講座 体外循環装置	生体機能代行装置学 体外	見目恭一、福長一義	医歯薬出版株式会社	2012・3,990円＋税
参考書					
その他の資料		実習資料を適宜配布			
【評価方法】 レポート提出および実技試験を総合的に判定して評価する。配点はレポート 50%、実技テスト50%とする。ただし、定められた期限内にレポートの提出がない場合は、実技試験の受験資格はないものとする。			【履修上の留意点】 生体機能代行装置学および医用機器学実習を復習しておくこと。実習に際して、生命維持管理装置の操作方法や保守点検および安全管理を習得する意義を確認しておくこと。		